



2022年5月13日

各 位

会社名 ヤマシンフィルタ株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 山崎 敦彦
(コード番号: 6240 東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務執行役員 井岡 周久
(TEL. 045-680-1671)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2021年12月10日に公表いたしました2022年3月期通期（2021年4月1日～2022年3月31日）の業績予想と実績に関し、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

1. 2022年3月期 通期連結業績予想と実績との差異

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	19,130	1,950	1,920	430	6.0円
今回修正予想 (B)	18,821	1,344	1,317	47	0.6円
増減額 (B-A)	△308	△605	△602	△382	—
増減率 (%)	△1.6%	△31.1%	△31.4%	△89.0%	—
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	14,587	△145	△135	750	10.69円

(注) 2022年3月期為替レート 米ドル 112円 (前回見通し公表時 110円)
ユーロ 130円 (前回見通し公表時 130円)

2. 差異の理由

① 建機用フィルタ事業

前回通期の業績見通しを公表した2021年12月10日時点と比較し、主要得意先の生産活動や建機の稼働時間は、中国を除く日本、米国、欧州、アジアといった主要市場において高水準で推移しており、売上高については前年度と比較し大幅に増加し、今後の需要についても堅調に推移することが見込まれます。しかしながら、ロシア、ウクライナ情勢の深刻化によるサプライチェーンの混乱に伴う物流の影響や中国市場の低迷による需要減少により前回公表値を下回りました。また、営業利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、世界的に発生しているロジスティクスの混乱による海上輸送費や航空運賃といった物流コストの高騰や、原材料価格高騰の影響に伴う製造原価の増加影響が想定を大きく上回ったことにより前回公表値を下回りました。

② エアフィルタ事業

既存のビル空調用フィルタや工場用エアフィルタの交換需要の回復に伴い、売上高、営業利益ともに前回公表値を上回りました。

③ ヘルスケア事業

売上高については、新型コロナウイルスの感染者数の増加に伴い、一時的に当社製品の需要が増加したことから前回公表値を上回りました。また、営業利益については、当第4四半期において、商流の見直しや不採算製品のリストラの実行といった事業構造改革により収益性の改善を実現いたしましたが、通期では前回公表値を下回りました。

【ご参考】 事業セグメント別の見通し (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：百万円)

セグメント		前回公表 (A)	実績 (B)	増減額 (B-A)	
売上高	内訳	合計	19,130	18,821	△308
		建機用フィルタ事業	16,000	15,592	△407
		エアフィルタ事業	2,500	2,577	77
		ヘルスケア事業	630	651	21
		調整額/全社費用	—	—	—
営業利益	内訳	合計	1,950	1,344	△605
		建機用フィルタ事業	3,715	3,115	△599
		エアフィルタ事業	35	70	35
		ヘルスケア事業	△310	△329	△19
		調整額/全社費用	△1,490	△1,512	△22

以上